

課題名	代表者	共同事業者	概要
利尻町沖浮体式洋上風力導入調査業務	北海道利尻町	株式会社ドーコン 一般社団法人オフショアウィンドファーム事業推進協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石燃料に依存した現在のエネルギー源を多様化し、風力発電によるエネルギーの地産地消により、フェリー、飛行機などの交通遮断による離島のリスクを低減する。また、低炭素化社会を目指し、自然と共生する町として広くPRを進める。</li> <li>寒冷地においても浮体式洋上風力発電が可能であることを実証する。</li> </ul>
奥尻島沖浮体式洋上風力導入調査業務	北海道奥尻町	株式会社ドーコン 一般社団法人オフショアウィンドファーム事業推進協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島のエネルギー・セキュリティーの観点からも地域内でエネルギーを作り出すことの必要性が高くなっており、自然環境保全と地球温暖化対策を推進するため、地域で活用できるエネルギー資源の価値を再認識し有効活用を図るとともに、地域における総合的なエネルギーの活用可能な導入を検討する。</li> </ul>
久慈市沖洋上風力発電による脱炭素化ビジネス促進のための調査検討	岩手県久慈市	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>久慈市沖における浮体式洋上風力発電によるエネルギーの地産地消を目指し、浮体式洋上風力発電の早期普及に向けた情報整理や各種調査を実施し、事業性・CO<sub>2</sub>削減効果の見通しを検討することにより、久慈市における自律的な脱炭素ビジネスの形成、ひいては国の第5次環境基本計画に掲げられている地域循環共生圏の構築を促進することを目的とする。</li> <li>併せて、浮体式洋上風力発電の導入に向けた、地域関係者（県及び近隣自治体、漁業関係者や港湾関係者、観光業関係者、発電事業者等）との合意形成を図ることも目的に加えるものとする。</li> </ul>
伊豆大島沖浮体式洋上風力導入実証事業	東京都大島町	日本工営株式会社 一般社団法人オフショアウィンドファーム事業推進協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者・観光業といった港湾利用者等から成る関係者との調整および理解醸成のための協議や、基礎調査、海底地形・地質調査、風況・海象調査といった各種調査、設備選定や系統連系に係る事業性検討の上で、浮体式洋上風力発電機を設置・運転する。</li> </ul>

<p>浮体式洋上風力発電を活用した地域エネルギー拠点化推進事業</p>	<p>福岡県北九州市</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・響灘一般海域の水深50m以上の地域を想定して浮体式洋上風力発電の導入可能性、及び地域エネルギー会社を活用したエネルギーの地産地消について調査を行い、浮体式洋上風力発電を活用したエネルギー地産地消モデルを検討する。</li> <li>・本事業の実施により、浮体式洋上風力発電に係る地元関係機関等の理解醸成が進み、導入にあたっての留意点等が明らかになるとともに、地域エネルギー会社を通じて、本市だけでなく北九州都市圏域に再生可能エネルギーを供給することで、より広域的な地域循環共生圏の構築に貢献できる。</li> </ul>
<p>対馬沖浮体式洋上風力導入調査業務</p>	<p>長崎県対馬市</p>	<p>株式会社チョープロ 西部環境調査株式会社 一般社団法人オフショアウィンドファーム事業推進協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対馬市は、本土との系統連系がない独立電源の島であり、島内消費エネルギーのほとんどを島外からの化石燃料に依存している。洋上での風力発電によるエネルギーを地産地消することで化石燃料への依存を減らしたい。さらに水素製造や電気自動車への供給などエネルギー消費の大きな交通分野への利用も促進させ、エネルギー関連の雇用の創出につなげたい。海外からの観光客も多く、世界最先端の日本の技術力のPRにも直結する。</li> </ul>

※上記は採択時の状況に基づく内容であり、審査委員会の指示等により内容に変更が生じることがあります。